

第3回 小学校再編に関する地域住民説明会（北小松島小学校区） 概要

- 日 時 : 平成30年7月26日(木) 19時開始
- 場 所 : 北小松島小学校 2階 会議室
- 参 加 者 : 32名
- 教育委員会 : 吉岡教育長 他8名
(事務局)
- 内 容 : 1.開 会
2.教育長あいさつ
3.教育委員会職員紹介
4.配布資料確認
5.説 明
① 小学校再編に向けて
② 小松島市立学校再編基本計画(案)
③ 学校施設の利活用
6.質疑・応答(意見交換)
7.閉 会

地域・保護者等から出された主な意見と回答

○1つの学校学年で先程の説明にもあったが、複数クラスが理想なのかなと、示されていたことは仕方ないのかなという思いである。お願いしたいのは、学校が統合になれば教育施設の面でも例えばエアコンの設置であるとか、子どもたちにとって過ごしやすいい環境を整えていただければと思う。

○第3回有識者会議での学校再編(案)の「再編内容①」だったら、再編場所に関して南小松島小学校に新校ということと、「再編内容の④」であれば小松島小学校に新たな建設となっているので、そうなったら北小松島小学校は既に廃校予定となる。それはどうなのか。

→(回答)

先程来壁に貼っているように昨年の有識者会議の中で3校程度というのであればどういことが考えられるのか、ということでこういった形のを提案させていただいた。ただ、その資料を見ていただいたら分かるように、あくまでも現状の学校施設を使った場合、ということ。これから実施計画を策定していく際にいろいろなそのようなことを踏まえて決定していくということになるので、今の段階で何がどうなることが確実だ、ということはない。この場では難しいというのが現状である。

○小松島市に言いたいのがこれからも全然子供を増やす努力をしないのか、ということ。他所の地域では増えているところも多々ある。藍住とか松茂とか。それに対しては努力をしてほしかったというのが一つ。

先程言っておられた新しい地域のコミュニティというのは難しいと思う。3校になった場合、その学校のある地域の方というのはふれあいやすいのだが、もしそれが全然違うのだったら、北校地域の方というのは、そこまで出て行ってふれあいというのは難しいと思う。

学童というのは国からも言われているように、地域と学校と協力しながら、というのが条件になっている、補助金をいただくことに関しては。

新しい所を探すという案もあるということを書いていたが、ここ北自体は津波の心配が多少ある。南校も浸水がすごい。勿論小松島は今でも水はけが悪いと言っているし、前が川。千代にしても全部重なるとしたら、複合型にして防災を考える上では、新しい場所を策定してほしいと思う。

○地域性というのを少子化、少子化でなくて総合的に人数をみる、2学級にするというのではなくて、北校の特徴を考えて残すという形でしていただきたいと思う。市営グラウンドの方も整備に入って防災拠点としての公園になるのであれば、防災拠点の近くにある小学校というのは津波の心配はあるが、避難場所としてヘリコプターも到着できるし、ドクターヘリなども日赤が近いのですぐ連携できる。

○3つに分けるとどんな風にしてもすごく中途半端だと思う。左上の5校ぐらいと下の6つぐらいというので一つずつそれぞれ2校ずつにして、新たな所を作って通学支援をする、スクールバスを走らせる、という感じならなんとなく理解できる。

既存の設備を使うのが前提というのは全然おかしいと思う。既存の設備どうというのなら、北小松島小学校は耐震もできて、42年ぐらいまでというので小松島小学校もいい。良い所が2つ近い所にあるわけ。他の所というと、遠い所がいっぱい集まらないといけない、そんなややこしいことだったら、おそらくその学校に来る人は不満が出るだろうし、説明もしにくいと思う。誰が考えても2つぐらい新しい所を作っていたら、既存の設備などと言わずにびしっと再編のことを考えていただきたい。

○スクールバスを出すのだったら1年生、2年生だけになるのか、1年生から6年生になるのか、3kmまでだったら、3.1kmはどうなるのか、保護者にとったらその辺のことを考慮してほしいと思う。

子どももすごく大事だが、その子どもを支えている親とか小松島を支えている職員たちもすごく大事だと思う。学校再編は子どもの事が1番、そこで働いている人のことが2番というふうな感じで考えていただいたらと思う。

○3校になるというのは校区が広すぎるので、子どもがどこで遊んでいるか、どこまで遊びに行っているかが分からなくなる、ということが起きてくる。放課後、安全面で子どもたちがどこで遊んでいるかが分からないことが起きた場合、どこがどういうふうに責任を取るか考えているか。

→ (回答)

現時点ではそういったことが起こった場合のことはまだ考えていない。校区が広がったケースの対処法とか何か策を講じるとか、他所の市町村のいろいろなケースがあると思うが、そういったことを参考にしながらその辺の対処はしようと考えている。

○一発にするとお金もかかるので、部分的に進めていく、という話にはならないのか。

→ (回答)

「実施計画」の中で計画的にということにおそくなるなかと思う。一発に3つ学校建てて、ということは現実的にもなかなか難しいのでは、ということで、その辺は整理をしながら、ということになると思う。

○12年先とかでなしに、もしかしたらもっと20年ぐらいかかったりとかいうことも。

→ (回答)

2030年度の完了を目途にしているということなので、今現在はあくまでも「基本方針」としては、ここを目途に目指していきたい。

○修繕に費用がなくプールが修繕できないのに、ここに色々書いている(通学支援・運行ルート・乗降場所・便数・運行時間)スクールバスの運行というのは必ずできるのか。

→ (回答)

今回の学校再編の大きな目的としては、良好な施設の環境整備というのがある。今なかなか11の小学校では市の方で手が回らないという部分も、学校が集約されればそういったことにも施設環境の部分を整えていくという所も大きなところ。通学支援・スクールバスをどういった形でどのように残すのかについてはこれからになってくるが、施設とか支援関係についても再編後については今現状についてはできていないが、新しい再編後については、良い方向になるように考えていきたい。

○スクールバスの話が出たが、今、現時点で南校もスクールバスが出ているが、天気によって公共機関やスクールバスが動かないといった時には、バス通学の子どもたちは学校に通えないので、臨時休校という形になっていると思うが、やっぱり通う距離が遠くなればなるほどその臨時休校となる率も高くなる。近くの子どもたちはバスが動かないけど警報が出ていないから通うことはできるけど、バスの運行会社の方が、こういう天気では運行はだめと判断したら、スクールバスを利用している子どもたちは学校に通うことができない

状況が南校では起きている。それで臨時休校になってという形の話をよく聞くが、そのようなことの対応はこれから考えていくことか。

→ (回答)

今の南小松島小学校のスクールバスの現状でいいのかどうかということも、新しい学校再編の際には考えていかなければならない。路線バスが休みだったら臨時休校、警報が出たら休みになってしまう、という現状というのは当然よろしくない。本当に新しい学校まで行く交通手段というのは、距離が長い子どもさんたちに支援をしていく方法というのは、これからいろいろ考えていかなければならないと思っている。

○どうしても3校でなければいけないのか、5校ではだめなのか、とかそこら辺のことももう一度やっぱりいろんな説明会の所に行って保護者の意見、地域の意見も聞いて検討してほしいと思う。1クラスには1クラスの良さがあるってやっぱり子どもたち同士が思いやりがあって北校というのはできたので、中学校に行って人数が増えた途端、いじめの問題に遭遇して登校拒否をしている子どもたちも多々増えている。

在学する子どもたちを引き合わせて、いきなり新しい所で会わずとかでなく、学校のPTAの顔合わせとかそういうふうなデリケートな所にも気を遣って欲しいと思う。

複合型の施設とっていったが、どのような施設がいいのか、ということも有識者ばかりでなく、現場の意見を聞いていただけると嬉しく思う。